

県人教だより



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町2 1 番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578 / FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

第48回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会



8月18日（金）「第48回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」が、米子コンベンションセンター、米子市文化ホール、米子市役所の3会場4分科会（6分散会）で開催されました。4年ぶりに対面による報告・討議が実施でき、第

4分科会では人権問題啓発入門講座として講演やグループワークが行われました。約1,100名の参加者が集いました。各市町村から参加していただいた報告者、司会者、研究推進委員、運営委員そして当日運営に関わっていただいた西部地区役員関係者の皆様には、大変お世話になりました。

そして、実行委員会、企画運営委員会、基調提案作成委員会、開催地実行委員会等の委員の皆様にも、年度当初から3回の委員会に参加していただき、研究集会の円滑な運営に関して、熱心な意見交換をしていただきました。関係者皆様のご支援とご協力に對しまして、心から御礼申し上げます。

参加者の皆様からは、「やはり一堂に会して討議できるのは望ましい」とか、「報告者の熱い思いを直に聞くことのできる機会があり、学ぶべきことが多かった」等の肯定的な意見がたくさんありました。ほとんどの分散会で報告内容に対して80%以上の参加者の皆様の肯定的な評価がいただけました。

今後も関係諸機関等との連携を密にして、本研究集会が参加者の皆様が人権問題を自分の課題としてとらえ、その解決に向けて、自らのくらしや生き方を変えていこうとする実践行動につながるように運営面でさらに努力していきたいと思います。どうか来年度も本会にご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の今後の予定

2024(令和6)年度(第49回)中部→2025(令和7)年度(第50回)東部

全同教結成70周年

第74回全国人権・同和教育研究大会（兵庫・京都・大阪大会） 兼 第70回兵庫県人権教育研究大会 中央大会

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」をテーマに、全国各地で取り組まれている人権・同和教育の実践を交流し、学び合う第74回全国人権・同和教育研究大会が、全同教結成に参画した11府県市人教と共同開催されます。

実行委員会では、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」をテーマとして掲げ、（サブテーマ ～部落問題を解決し、人権文化の創造をはかるために、同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していこう～）「つなぐ かがやく ゆめひらく ～だれ一人とり残さない社会の創造をめざして～」をスローガンにして、11月25日・26日の開催に向けて準備をしています。

◆報告者 大山町中山ふれあいセンター館長 前田一二三さん
◆分科会・分散会 第4分科会 人権確立をめざすまちづくり

■全同教結成70周年・第74回全国人権・同和教育研究大会について

- ◇開催の主体:全同教結成に参画した11府県市人教(京都府、京都市、兵庫県、滋賀県、奈良県、大阪府、大阪市、和歌山県、岡山県、徳島県、高知県)が実行委員会を作り、全人教と共催して実施
◇開催地:京都・大阪・兵庫に分散して開催 ◇期日:2023年11月25日(土)、26日(日)

第14回中国ブロック人権・同和教育研究大会 ～他県の取り組みから学ぶ～



第14回中国ブロック人権・同和教育研究大会が10月7日(土)、県民ふれあい会館で開催されました。この会は岡山県人教が他の中国四県と部落差別含むあらゆる差別解消のための取り組みや実践について、意見交換をする場を設定したいという思いで設立されました。当日は各県より計42名の参加者が集まりました。全体会で岡崎会長の挨拶のあと、本会の趣旨が説明され、その後、2つの分散会に分かれて、それぞれの報告を聞き、協議を行いました。

各県の「人権侵害の早期解決に向けた取り組み」や「地域で起こった差別事象について深く学ぶ」という内容等について意見交換が熱心に交わされ、参加者が主体的に学習する場になりました。各県の報告の題名は以下の通りです。

- 岡山県 「美作騒擾(そうじょう)から何を学ぶか ～学校での実践を通じて～」
山口県 「全国水平社 ～歴史学習の中に地域教材を～」
広島県 「民族学校生の日本学校併修について」
島根県 「一人の「少女」の気持ち ～形にとらわれない人権学習をめざして～」



編集後記

8月の研究集会の第4分科会第2分散会は、「バイアス、ミナオス?～私、あなた、社会の『当たり前』を見直す～」でした。他の分散会と異なり、グループでの話し合いがあるため参加人数を制限せざるを得ません。参加申し込みが多くて他の分散会に回ってもらうことになり、心苦しかったです。「アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)」「マイクロアグレッション(軽微な攻撃)」は専門用語のようで、近年、急速に社会に広まっている感じがします。自分自身の日常生活の何気ない言動を、相手の立場に立って振り返ることは大切なことだと思います。